

認定看護師シタター



認定看護師室：2015年9月7日発行 vol.29

担当：緩和ケア認定看護師 上野 ゆか

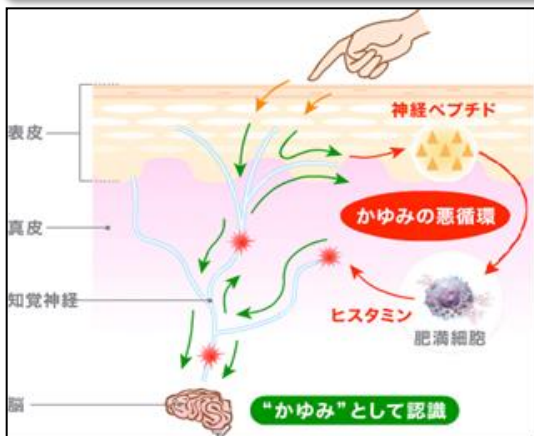


フェントステープ貼付部のかゆみへの対応

先日、貼付部のかゆみを訴えた患者さんがおられました。剥がした部位のかゆみなら軟膏などで対応できますが、貼付剤を貼っている部位のかゆみに対しては、対応が難しいと思います。そこで、今回は貼付部のかゆみへの対応について、お知らせしたいと思います。



なぜ、かゆみが起こるのでしょうか？



直接皮膚に貼る貼付剤などが刺激となって加わると、皮膚の肥満細胞からヒスタミンなどの、化学伝達物質が放出され、皮膚の赤みや、腫れ、かゆみをひきおこします。また、抗がん剤により分裂が活発な表皮の細胞が影響を受け、角質層が薄くなり、皮脂腺や感染の分が抑えられることから皮膚の乾燥がおこると言われています。ドライスキンでは皮膚が敏感になり、刺激でもかゆみスイッチが入ってしまいます。



貼付部位のかゆみに対する対応策

①フェントステープは湯たんぽやカイロなど熱源に接することで、薬剤の吸収が早くなるため禁忌です。かゆみがある場合、ハンカチなどで保冷剤を包み冷やすことは可能です。(薬剤の吸収に、問題はありません)

②シャワーや入浴後に、保湿剤を塗布しスキンケアを行います。

③発赤やかゆみなどの症状が続く場合は、医師に相談しステロイド外用薬を使用する場合があります。貼付2~3時間前に、貼付する部位にステロイド外用剤を薄く塗布し、その後フェントステープを貼ることもできます。

認定看護師フェアのお知らせ

10月27日(月)~30日(金) 1階外来フロア
各分野の認定看護師が活動紹介のポスターを展示しますのでご覧ください

10月29日(木)は、以下の内容を開催しますので、奮ってご参加ください

9:00~15:00 1階外来フロア

手洗い・AED体験
自宅でできる呼吸ケアに関する体験・相談コーナー
創傷ケアの相談コーナー

18:00~19:30 8階多目的ホール

「慢性心不全看護認定看護師の活動内容紹介
~心不全手帳の活用について~」
「口腔トラブルのケアについて」の講義・演習